



川にいるドジョウやナマズなどに、ひげがあるのはなぜ

ひげはアンテナ

ナマズは、池や流れのゆるやかな川（中流から下流）の、川底のかくれ家の中にすんでいます。そして、昼間は、穴の中などにかくれてねむっていて、おもに夜活動します。

ドジョウは、水田のどろの中すみ、にごったどろの中では、目があってもほとんど役に立ちません。ですから、これらの魚のひげは、目のかわりや、人間などの舌のかわりまでしているのです。

流れのゆるやかな所には、どろがたまる

流れのゆるやかな川底には、どろがたまりやすく、そのような水底のえさを食べる魚には、ひげがあるものが多いのです。水底にいる小動物や水草の根や葉を食べるコイも、ひげがあります。どろの中をひげでさぐって、えさや、獲物を探します。ひげでさわれば、おいしい獲物が石ころか、木の根か、などの区別がつくのです。

ドジョウは、どろの中の小動物や、死んだ生き物が、微生物のはたらきで分解されてできた栄養分を、えさにしています。4本ひげがあるナマズは、ひげで探って、夜ねむっている小魚やザリガニ、カニ、エビ、カエル、水生こん虫などをとらえて食べます。

（監修・安部 義孝）

